

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ	実施日	支援額
1	佐賀県地域づくりネットワーク協議会	石田 達也	特定非営利活動法人 宮崎文化本舗 代表理事	「オール九州に学ぶ 新しい仲間づくりの極意」 ～宮崎県地域づくりネットワーク協議会の場合～	令和元年6月29日	95,440円
	講演内容		研修成果			
<p>①宮崎県地域づくりネットワーク協議会の事務局である、特定非営利活動法人宮崎文化本舗の紹介。宮崎文化本舗のこれまでの取組や多彩な事業展開の話をしていただいた。</p> <p>②宮崎県地域づくりネットワーク協議会の運営の話では、若い世代に会長・副会長を任せられた取組についての話をいただいた。</p> <p>③実施事業については各ブロックでの取り組みや、毎年開催をされている、宮崎県での交流会(第23回宮崎県地域づくり団体研修交流会)について話をいただいた。</p> <p>④地域おこし協力隊のサミットやフォローアップのことを話をいただいた。</p>		<p>今回の成果としては、佐賀県地域づくりネットワーク協議会としてこれまで地域おこし協力隊と接点がなかったのが、昨年10月に県担当課がさが創生推進課となり、さが創生推進課より地域おこし協力隊へのアナウンスをしていただいた。毛XX、今回は地域おこし協力隊からも参加がありました。地域おこし協力隊では地域でコミュニティを形成している思われ、今回のこの機会より、地域づくり団体と地域おこし協力隊が新しい仲間と接点ができるのではないかと期待したい。</p> <p>県協議会としては、県独自の交流会をこの数年開催をしていなかったが、交流会を復活させ顔の見えるネットワークの再構築に向けた機運につながるのではないかとと思われる。</p>				

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ	実施日	支援額
2	石川地域づくり協議会	①森山奈美 ②山元圭太 ③尾野寛明 ④広石拓司	①石川地域づくり協会専任コーディネーター ②合同会社喜代七代表 ③有限会社エコカレッジ代表取締役 ④株式会社エンバブリック代表取締役	いしかわ地域づくり塾	①令和元年7月15日 ②令和元年8月17日 ③令和元年9月28日 ④令和元年11月16日	150,000円
	講演内容		研修成果			
<p>今年度のいしかわ地域づくり塾は、令和元年7月15日に無料のプレ講座を、8月17日から12月14日に本講座を開講し、受講生が今後取り組みたいことを「マイプラン」としてまとめ上げる「マイプランコース」と、講義や演習を通じてコーディネートに必要なスキルや知見を身につける「コーディネートコース」の2つのコースを開催した。</p> <p>今回助成申請した講座における講義の概要は次の通り。</p> <p>【7/15:森山氏】 ○テーマ:地域づくり人材を育成するには「地域づくりとは何をすることか?」「よい地域とはどんな地域か?」について、受講生同士の対話や「公共」についての解説などを交え講義いただきと共に、地域の課題が複雑化する中、試行錯誤しながら学ぶことが大切との話をいただいた。</p> <p>【8/17:山元氏】 ○テーマ:ソーシャルプランの作り方 受講生が今後マイプランを作っていくにあたり、まず自分のやりたい活動がどういったタイプになるか、どんな特色が強いのかを考えることの重要性や、プラン作りの各ステップにおけるポイントや求められる考え方について講義をいただいた。</p> <p>【9/28:尾野氏】 ○テーマ:普通の人が進める地域づくり 肩書がなく、何かをしたいと思っているが一歩を踏み出せない「普通の人」が今後の地域づくりには重要であり、「普通の人」を前に進ませるには、ひたすら共感することや、企画書を作ってモヤモヤを言語化してもらうことが必要との話をいただいた。</p> <p>【11/16:広石氏】 ○テーマ:複雑な社会問題を解くために 社会を変えるには、まずは対話を通じて想いを他人と分かち合い、共感する人、そして関わってくれる人を増やすことが大切であること、また、変化後の姿だけでなく、何が起これば社会が良くなるかまで考える必要があることを講義していただいた。</p>		<p>参加者アンケートでは、回答のあった方全員から「満足した」「やや満足した」との回答があった。また、個別コメントでは例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりについての考え方を再認識できた ・自分たちがやろうとしている/やっていることを整理できた ・相手によってコーディネートでの接し方が変わることを学んだ ・一緒にやってくれる人が増えるための人間関係づくりや、共感を得るためのストーリーの重要性を学んだ <p>をはじめ、多くの参加者が講座で得た気づきを回答しており、参加者が地域づくりを進めていくにあたり、ゲスト講師の講義がプラスになったものと思われる。</p> <p>なお、森山氏の講座は年間受講者の募集と併せて実施したものであったが、講座を通じて地域づくりを学ぶことに関心を持った受講生が多く、参加者のうち4名が年間受講、6名が聴講するに至った。</p> <p>また、山元氏・尾野氏・広石氏は、講義に加えて受講者との対話やプラン・コーディネート実習への指導も行っていただいた。地域づくりの第1人者から直接指導を受けたことは、年間受講者のマイプラン作成や、コーディネート能力の向上の点でも刺激になり、最終的に年間受講者全員が講座を修了することができた。</p>				

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ	実施日	支援額
3	群馬県地域づくり協議会	①夏堀めぐみ ②須藤か志こ	①クスろ 元代表 ②クスろ 代表	リーダーはヒーローじゃなくていい ～人を巻き込むコミュニティのつくり方～	令和元年7月1日	136,340円
	講演内容		研修成果			
講師の夏堀氏は、「会いに行きたい人がいる街、釧路」を全国発信するため2014年にクスろを設立。もう1回会ってみたいという体験をさせてくれる人を紹介し、実際に会ってもらい、その人がいるかももう1回行く。そんな街をデザインしたいと、魅力的な人を発信するサイト「クスろ港」を開設、またフリーペーパーも作成し「クスろ人」として紹介している。さらに、魅力的な人を実際に会う1泊2日の「ひとめぐりTOUR」の開催や、街づくりについて市民が気軽に集まって学び、議論、交流できる場である「クロスソーシャル大学」を設立した。現在は同団体の代表を須藤氏に交代し、クラウドファンディングを活用して「クスろのおふざけキーホルダー」を作成する等、常に新しい試みをしている。		前代表の夏堀氏と現代代表の須藤氏の掛け合いで、発足当時のエピソードや当時の状況などを分かりやすく解説。受講者からも「双方向で語り合えてとてもよかった」「若い人たちの講師自陣が新鮮でよかった」「活動内容が細かく開けたのがよかった。企画やマネジメントの開発が素晴らしい」等の多くの感想が寄せられました。リーダーはヒーローでなくてもいい。「一人では何もできない」が「組織の中で、自分が何ができるか」を考えること。さらに、地域をおもしろがり、まず自分たちが楽しむことが大切であると改めて実感した参加者が多かった。また、今回、はじめて参加する若年層の参加者もいたことから、若い世代の地域づくり活動事例を聴くことで、新しい観点でのコミュニティづくりが進む可能性がある。				
講演では団体が楽しみながら地域活性化を進めていることや助け合いながら活動していること等をお話いただき、人を巻き込みながらコミュニティを作る手法についてアドバースを頂いた。		以上から、本講演会を通して、さらに活発な地域活動の展開が期待できると考えられる。				

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ	実施日	支援額
4	愛媛県ふるさとづくりネットワーク推進会議	木村俊昭	東京農業大学総合研究所 教授	第42回地域政策研究セミナー 「地域づくり団体と行政との協働による地域創生」	令和元年12月13日	150,000円
	講演内容		研修成果			
今回開催した「地域政策研究セミナー」は、愛媛県ふるさとづくりネットワーク推進会議で事務局を担当している(公財)えひめ地域政策研究センターが財団設立以来開催している地域課題解決型のセミナーであり、42回目を迎えた。同セミナーは、愛媛県松山市堀之内にある「愛媛県美術館1階講堂」で12月13日(金)に開催し、東京農業大学総合研究所の木村俊昭教授を招いて、地域づくり団体と行政がどのように連携・協働を図れば次代を担う若者たちに明るい地域社会を残すことができるか等について考えた。		当セミナーの参加者の多くは、行政職員や地域づくり団体の関係者であった。木村先生からは、地域づくりに必要な観点である「全体最適」や、地域のリーダーとして求められる人物像に加え、五感六育(知育、木育、食育、健育、遊育、職育)にも触れられ、五感を磨くことの大切さなどについても説かれた。今回の講演を通じて、地域づくりに求められる手法や考え方などについて、聴講者には多くのことを学んでいただけたと思う。				
第1部の講演では、木村先生から地域創生を図るポイントとして、「重要性・緊急性の高いものから取り組む」、「固定観念を捨てる視点」、「地域で誰が何を・どうするのかを示し、ストーリーを立てる」の3つを挙げられた。これらは、地域の強みや弱み、希少性などを洗い出すことで明確になるとし、きちんと「街の分析」をすればどのような団体と組むべきかが見えてくるとご教示された。		また、パネルディスカッションでは、3つの団体の方にご登壇頂き、各々の具体的な活動事例などを通じて地域住民との対話の重要性や関わり合い方などに加え、どのようにして行政と連携・協働しながら地域づくりに対する意識を高めていくなどについてご発表頂いた。				
第2部のパネルディスカッションでは、愛媛県内で地域活性化に取り組んでいる3つの団体の方々にご登壇頂くと共に、木村氏にもコメンテーターとしてご参加していただき、「行政と関わった地域づくり」というテーマで行った。		今回のセミナーの成果として、実効性のある地域づくり活動の在り方やシビックプライドの必要性などについて考えるきっかけづくりになったものと考えている。				